



新田青雲中等教育学校

〒790-8541

愛媛県松山市山西町 600-1

TEL 089-951-6655

FAX 089-951-5200

平成 15 年 新田青雲中等教育学校 開校

とべ青雲の空高く 進 知 誠を校訓に、徹底した学力、心の教育、感動の教育、面倒見のよさを教育方針とする。

学級数：9 生徒数：286 普通科（※学級数・生徒数は高校生）

鉛筆やクリアファイルを購入して募金に充てる

知的障害者施設、肢体肢不自由な子どもへの支援を行っている。この事業は、商品（鉛筆やファイル等）を購入して募金に充てるというものである。他には、日本赤十字社の東日本大震災義捐金、ユニセフアフリカ千ばつ緊急募金等、ボランティア委員会が各クラスに募金箱をもって回る。

青雲祭バザーでの余剰品の販売、「折鶴を折って募金にする」活動にも積極的に取り組んでいる。

また、去年、今年とボランティア委員長の住んでいる地域である梅津寺海岸周辺を美化委員とボランティア委員、および希望者で年に1度清掃活動をしている。活動の場所は、固定していない。学年で学校行事としていた時期もあったが、今後はどのような方向で実施するかは検討中である。

個々には、ヤングボランティアセンターの各種の活動に参加している。



ボランティア委員会が発足し、この委員会が中心となって全校生徒に呼びかけたことが発端となった。

ボランティアをすることで、高校生は中学生のリーダーとなって、指導力、統率力を培うことができた。また、校外活動では、地域の人とふれあうことで、コミュニケーションの大切さをまなび、社会貢献をすることの喜びを味わうことができた。生徒は積極性が増し、より活動的になり、来年度も行いたいと言っている。

より多くのボランティアを体験させたいと思うが、土曜日午前中の授業があり、その時間帯の活動ができないこと、参加のための交通費のことや集めた募金の管理面、安全面のことなどが今後の課題である。



愛媛大学附属高等学校

〒790-8566

愛媛県松山市樽味3丁目2番40号

TEL 089-946-9911

FAX 089-977-8458

明治33年 愛媛県農業学校 設立

昭和24年 県立松山農科大学附属農業高等学校 設立

昭和31年 国立に移管され、農学部附属農業高等学校と改称

平成20年 国立大学法人愛媛大学附属高等学校に改組

「地域に役立つ人材、地域の発展を牽引する人材の養成」を目指す愛媛大学の理念にもとづき、生徒に「学びに対する高いモチベーション」「地域を担う意欲」とそれを支える「確かな学力」を育て、「生きる力」を愛媛大学と連携して、培うことを目的とする。

学級数：9 生徒数 360 総合学科

愛媛大学の施設へ行ってボランティア

JRC部では、今年度から新たに取り組み始めた愛媛大学職員のための学童保育で、保育補助をしている。学童保育の対象は1年～6年。生徒1人につき、2、3人の面倒をみることになる。アクアパレットや興居島への遠足にも同伴する。子どもに目を離せない状況で責任を感じる時間だったようだ。

また、長期休暇の折に愛媛大学附属病院を訪問し、外来患者や面会者を玄関で出迎えている。訪れた方々からは、笑顔で接してくれてほっとすると言われた。

その他、小中高合同トレーニングセンター、献血の呼びかけ、ヤングボランティアセンターでの活動等をしている。



生徒の話

私が通院している病院に、毎日困っている人に声をかけているボランティアの方々を見て、強い衝撃を受けた。そのことがきっかけで、ボランティアに興味を持ち活動するようになった。活動を通じて、心から感謝できる心が身に付き、周りのことを考えた行動できるように、努力するようになった。

社会性を養うことが出来た。コミュニケーション能力を培うことで、将来、多様な人と交流し、理解しあえると思う。

社会のために何かすることで、人と人とのつながりや、あたたかさを感じるようになった。

学童保育では、児童との絆を深めるためにも、できるだけたくさん参加できるように心がけた。事故を未然に防ぐために、よく打ち合わせしたり、責任をもって行動することの大切さを学んだ。自分の学校内でのボランティアについても今後、考えていきたい。また、これから、いろんな業種の施設にも訪問したい。

ボランティアを通じて、地域の人とかかわりあいの中で、コミュニケーション能力が生まれたと思う。将来、これらの経験は、私生活や仕事の面にもつながっていくと思う。これからは、自主的なボランティア活動がもっとできるようにがんばっていきたい。



消防防災航空隊の
防災ヘリの見学

愛大附属病院
玄関前で
車イス介助
挨拶

